

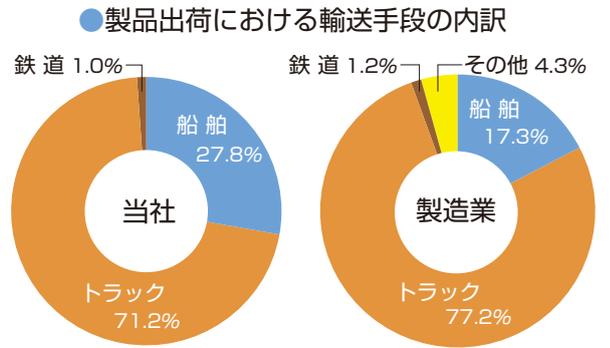
# 物流での取り組み



二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 削減に向けたグリーン物流の取り組みの柱として、モーダルシフトを積極的に推進しています。

## モーダルシフトへの取り組み

地球温暖化対策として、製造工程だけでなく物流面でのCO<sub>2</sub>削減が課題となります。当社は、物流面のCO<sub>2</sub>排出量抑制、エネルギー消費効率の向上等を目指して積極的にモーダルシフトを推進しています。具体的には、船舶輸送を拡大するとともに、鉄道コンテナ輸送の導入に取り組んでいます。



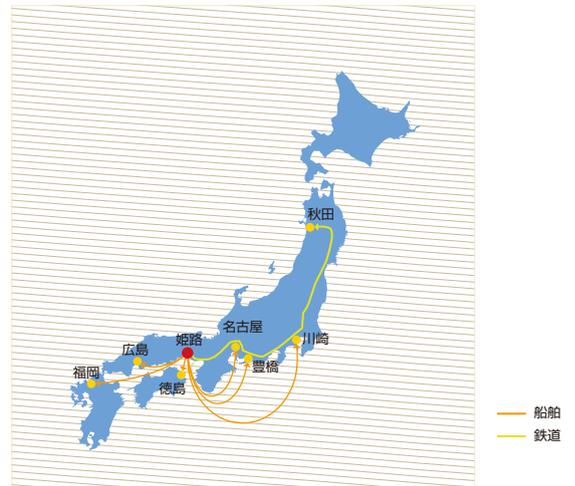
※2009年度実績より

※国土交通省「全国貨物純流動調査(2005年実施)」データより

## 船舶輸送の拡大

当社では本社工場(兵庫県姫路市)から東京・名古屋・四国・広島・九州方面の各物流拠点倉庫への輸送に関し、船舶を利用してしています。船舶輸送はトラック輸送に比べCO<sub>2</sub>排出量を約75%削減できると言われ、その利用率の拡大を図ることは環境保護の点で大変重要です。

当社の全製品出荷量に占める船舶輸送比率は、製造業平均を大きく上回っています。



## トラック輸送を鉄道輸送へモーダルシフト

2008年11月、姫路～秋田間の特殊鋼鋼材のトラック輸送を、専用コンテナを導入して鉄道輸送にモーダルシフトしました。

トラックから鉄道へモーダルシフトすることで、CO<sub>2</sub>排出量を約85%削減することができると言われています。

2009年度下期では、月間輸送目標値を達成することができました。

また、他地域への展開についても検討しています。



当社社名が表記された専用コンテナで運行するため、PR効果も期待できます。